

EU動向など講演

レアメタル資源再生技術研究会

【名古屋】レアメタル資源再生技術研究会

(会長 藤田豊久・東京大学教授)は19日、名古屋市熱田区の名古屋市工業研究所で「第12回講演会」を開催した。会員など約90人が



あいさつする藤田会長

参集し、熱心に講演を聴講した。

あいさつに立った藤田会長は「当研究会ではリサイクルの実装化に結び付けるかが重要になる。これまで東南アジア諸国とのリサイクル協力を進めてきており、今後も国際流通を進めていきたい」と話した。

講演会では物質・材料研究機構・構造材料研究拠点の原田幸明特命研究員が「EUのC

ircular Economyはわが国のリサイクル業界等にとり影響するか!」、経済産業省産業技術環境局リサイクル推進課の梅田英幸課長補佐が「資源効率・循環経済に関する動向と今後の政策展開」、石油天然ガス・金属鉱物資源機構金属資源技術部生産技術課の神谷太郎課長が「JOGMECのレアメタルリサイクル技術開発」、九州メタル産業の権藤正信社長が「シュレッダー破砕物の高度選別」などを講演した。